

心豊かな暮らし

縁
en

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

2010 Vol.14 spring



3 ■ 特集

みんなで一緒に暮らす

岐阜県大垣市 日様邸

7 ■ 「矢橋の家」

「和」モデルハウス

9 ■ 矢橋グループの街づくり

GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘
おすすめ住宅情報

11 ■ 矢橋工房―漆と付き合う

漆をもっと身近に

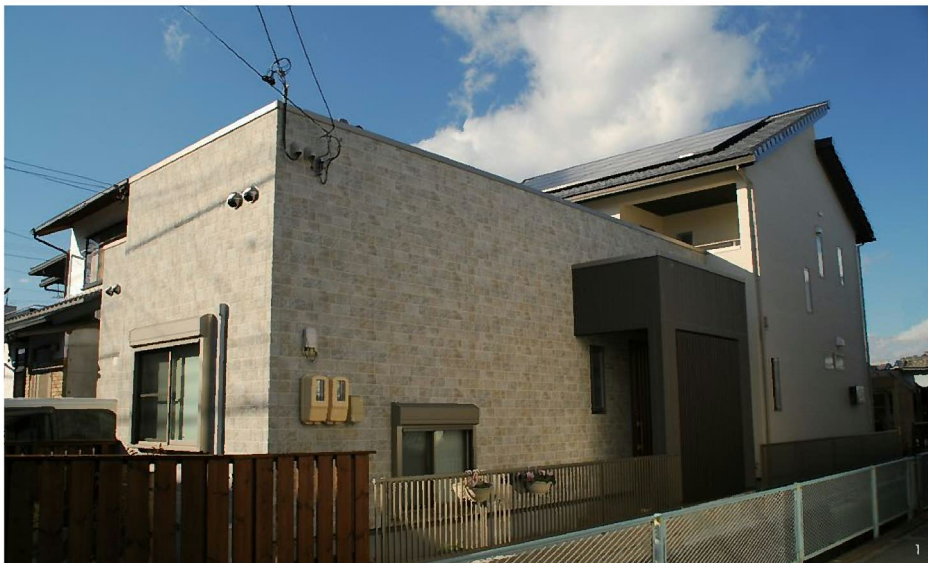
13 ■ 史跡 赤坂お茶屋屋敷牡丹園

■ 連載

中山道赤坂つれづれの記 文／故清水 春一
皇女和宮の下向余話（三）



GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘 「和」モデルハウス



右、ダイニングで団らん 1. 外観 2. アプローチから玄関へ 3. 中庭の見える玄関



■特集

みんなと一緒に暮らす

岐阜県大垣市 日様邸



1. きれいに手入れされた中庭 2. お母様手作りの切り干し大根 3. 中庭で遊ぶH様 4. 手入れされたアプローチ 5. 外観正面



営業担当
木材事業本部 住宅部
金森 善彦

H様ご夫婦との出会いは、「住まいのアンケート」でした。しっかりと繋がった大家族、いつまでも快適に生活ができるようにと、南北に細長い敷地での計画は「風通しが良く、外の光がいきとどく中庭のある家」がコンセプトになっています。今後とも末長いお付き合いを宜しくお願いします。



以前からこの土地にお住まいのH様。中山道沿いの歴史ある街並、人との繋がりが。休日にも地域に貢献する活動にも積極的に参加されているそうです。

大勢の家族と暮らすことで、思いやる心を育て、文化や知恵を伝え合う。世代をこえて「一緒に暮らす」とは、お子様の情操教育にもよく、お互いに安心です。『みんなで暮らす』良さを、改めてH様から教えて頂いたように思います。

人と、地域と、つながる

「家が帰ると誰かいるというのは、いいですね。人がたくさんいた方がいい。」と、ご主人が嬉しそうに話されました。

お母様がきれいに手入れされた中庭で嬉しそうに遊ぶ子供たちが印象的でした。

お互いに助け合い、みんなでにぎやかに暮らしつつも、それぞれのペースも大切にされている暮らしがありました。

「家に帰ると誰かいるというのは、いいですね。人がたくさんいた方がいい。」と、ご主人が嬉しそうに話されました。

お母様がきれいに手入れされた中庭で嬉しそうに遊ぶ子供たちが印象的でした。

にぎやかな食卓

朝食は、みんなで揃って食べています。

H様邸の中心となるのが、みんなが集まるLDK。毎朝の朝食は、家族揃って食卓を囲まるとか。

「夕食はなかなか揃わないのですが、朝は出掛ける時間が一緒になるので、みんなでそろって食べられるんです。」と、お母様。

お互いに助け合い、みんなでにぎやかに暮らしつつも、それぞれのペースも大切にされている暮らしがありました。

「家に帰ると誰かいるというのは、いいですね。人がたくさんいた方がいい。」と、ご主人が嬉しそうに話されました。

お母様がきれいに手入れされた中庭で嬉しそうに遊ぶ子供たちが印象的でした。

人と、地域と、つながる

以前からこの土地にお住まいのH様。中山道沿いの歴史ある街並、人との繋がりが。休日にも地域に貢献する活動にも積極的に参加されているそうです。

大勢の家族と暮らすことで、思いやる心を育て、文化や知恵を伝え合う。世代をこえて「一緒に暮らす」とは、お子様の情操教育にもよく、お互いに安心です。『みんなで暮らす』良さを、改めてH様から教えて頂いたように思います。



1. ご家族揃ってリビングで寛ぐ 2. 落ち着きのある和室 3. 玄関から覗く中庭 4. お父様の書斎コーナー 5. H様の書斎コーナー 6. 2階お子様のプレイルーム



「夫婦共働きなので、みんなで一緒に住み始めたら、生活の効率がとてもよくなりました。子供も見えてもらえて助かりました。家事も生活費もムダがなくなったという感じです。」と、ご主人。

効率よく暮らす

二世帯でお住まいのH様。二階にはご両親の居住スペース、落ち着きのある和室、共有のLDKと水回りを配置。二階にはH様世帯の居住スペースを設けました。

家に帰ったときの、「おかえり」の音が嬉しい。



■リビング

落ち着いた空間で矢橋工場の漆と暮らす。工場の塗装技術を生かした矢橋オリジナルデザインの無垢材を使用。オール電化+床暖房で快適。

漆
矢橋工場

ふたり仲良く暮らしつつ、それぞれの趣味を愉しむ。



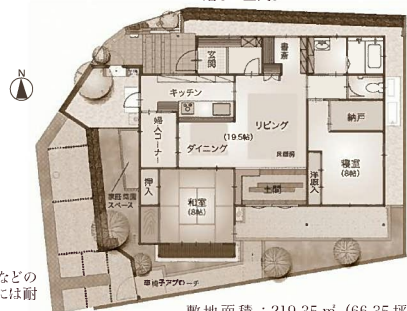
■玄関・ホール

靴だけでなく、帽子やコートもたっぷり収納。



■書斎

ご主人専用。趣味のギターやパソコン、読書を楽しむ。小さいけれど嬉しい空間。



敷地面積：219.35㎡ (66.35坪)
施工床面積：133.85㎡ (40.48坪)
1階床面積：100.20㎡ (30.31坪)



■ダイニング ■婦人コーナー

直接手に触れるところは天然素材の石や無垢材を使用。ダイニングとキッチンの間には奥様専用の婦人コーナーを設置。

本物



耐震最高等級3相当の実現

・スーパーストロンク構造体
バリュー採用

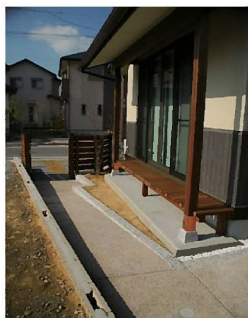
防犯対策

・防犯ガラス
+遮熱高断熱ペアガラス採用

安全

■和室

子どもや孫が気兼ねなく遊びに来れる多目的和室。



火災・健康・加齢への配慮

- ・火災警報機連動インターフォンの採用
- ・シックハウス対策☆☆☆☆
- ・バリアフリー設計
- ・手すりの設置

安心

■車いすアプローチ
濡れ縁の前には、駐車場から土間に続く車いす対応のスロープ。



■土間

お庭から繋がる土間では、趣味の絵画やガーデニング、お友達とおしゃべりも楽しめそう。

趣味

全 101 区画の分譲地「うるおひの丘」内にモデルハウス「和」(なごみ) が誕生！

NAGOMI MODEL HOUSE

Ver. 平屋建て

子供たちも
巣立ったことだし
そろそろ
ふたりの
住処でも
考えて
みようか…



新たなライフステージで…

安全

安心

本物

快適

趣味

和
NAGOMI

「矢橋の家の理念」

人が住むべき緑豊かな心休まる良い環境に、
天然素材を活かした日本の伝統を受け継ぐ家に住もう。
日本の原風景を取り戻し、日本人が育つ住環境をつくりたい。

YABASHI FORESTRY
YABASHINOIE

GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘

好評分議中！



おすすめ住宅情報！ NEW

うるおひの丘 南向きウッドデッキでひなたぼっこ

敷地面積 177.20㎡ (53.60坪)
建坪面積 134.13㎡ (40.57坪)
1F 床面積 62.93㎡ (19.04坪)
2F 床面積 52.99㎡ (16.03坪)

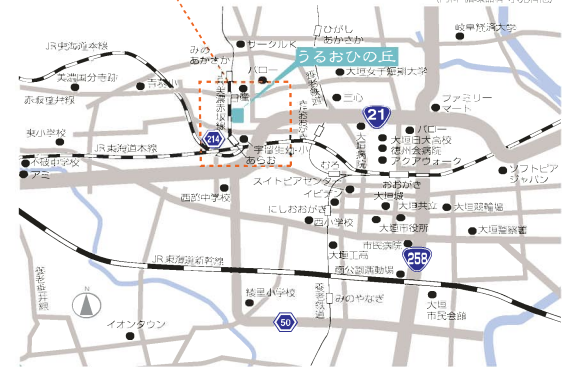
耐震等級 3相当
オール電化仕様



3月
完成予定

■4LDK+駐車場3台可能
■ナチュラルモダンな外観
■使いやすい家事動線
■書斎コーナー+外部収納+納戸+ウォークインクローゼット

LIFE INFORMATION
[交通機関]
■JR東武赤坂線 荒尾駅...約500m
■近鉄バス 御音神社前停...約200m
[公共機関]
■大府荒尾郵便局...約300m
[教育施設]
■ミズナリ児童館...約400m
■平和堂スーパーストック...約500m
■パロ赤坂店...約1400m
■ロコストア...約400m
[金融機関]
■北條クリニック...約400m
■金庫病院...約1000m
■大府セントラルクリニック...約600m
[その他]
■大府共立銀行 荒尾出張所...約300m
■大府信用金庫 荒尾支店...約200m
■十六銀行 赤坂支店...約1800m



矢橋林業株式会社
YABASHI
〒563-0122 大阪府大阪市東淀川区東中島4-1 TEL.06-84-29-0001
品名: 矢橋林業株式会社の代表取締役社長 矢橋 隆夫
http://www.yabashi.co.jp/house/
フリーダイヤル 0120-884-039

カーナビでお越しの方は
「岐阜県大垣市荒尾町1705-4」
と入力下さい(側近已機設の東)
※現地周辺までのご案内になります。
機材によっては表示されない場合がございます。



「矢橋の家の理念」
人が住むべき豊かな心持
まる良い環境に、
天然素材を活かした日本の
伝統を受け継ぐ家に住もう。
日本の原風景を取り戻し、
日本人が育つ環境をつくり
たい。



うるおひの丘 6-58

敷地面積 190.59㎡ (57.65坪)
建坪面積 125.85㎡ (38.05坪)
1F 床面積 67.07㎡ (20.28坪)
2F 床面積 52.17㎡ (15.78坪)

耐震等級 3相当
オール電化仕様

3月
完成予定

■4LDK+駐車場3台可能
■ナチュラルモダンな外観
■使いやすい家事動線
■外部収納
■ウォークインクローゼット

うるおひの丘 6-69

敷地面積 195.91㎡ (59.26坪)
建坪面積 141.23㎡ (42.73坪)
1F 床面積 62.10㎡ (18.78坪)
2F 床面積 56.31㎡ (17.03坪)

耐震等級 3相当
オール電化仕様

3月
完成予定

■4LDK+駐車場3台可能
■シンプルモダンな外観
■使いやすい家事動線
■外部収納
■ウォークインクローゼット

史跡 赤坂お茶屋敷牡丹園



当園の牡丹は、明治、大正、昭和にかけて故矢橋龍吉翁が史跡お茶屋敷敷内の花畑に、自然を愛し種々の優雅な草木と共に丹精こめて栽培してきたものです。

永きに渡り大切に牡丹を作り続けて頂いた代々のところを受け継ぎ、一年中、こころを込めて牡丹の手入れをしております。梅雨時、湿気に弱い牡丹には大変気を遣います。夏には、根に強い光が当たり過ぎない様、草や葉を根元に敷きます。秋には、翌年もきれいな花が咲く様、剪定を行います。

園内では、牡丹の他にも様々な木々や花、なども育てています。その為、春だけでなく、夏の緑、秋の紅葉、冬の寒牡丹など、四季折々の美しさを楽しんで頂くことができます。手入れした花が見事に咲き誇り、多くの方々に見て喜んで頂くことで、私たちも造園の喜びを知り、お互いに豊かな気持ちを分かち合うことができます。

門は、一年中開け放しです。どなた様にも何のおもてなしも出来ませんが、お心おきなく御来園ください。お待ちしております。

Column コラム

どうして我が家の牡丹はお花が咲かないの？

牡丹のお手入れ

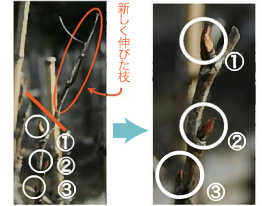
●4～5月(開花後、花が傷んできた頃)

花が傷んできたら花の根元で枝を切って下さい。



●9～10月(葉の青さがなくなった頃)

芽を3つほど残し、その上の新しく伸びた枝を切って下さい。(切り口が芽に向かわないように)



※芽を3つ残すというのは、あくまでも目安です。芽や枝を見ながら剪定して下さい。

●お手入れのポイント

枯れた花をいつまでも残しておかない事。花が萎わったら、根元で枝を切り、翌年に咲く花に養分をあげよう。

暑い時期は、剪定をしないで下さい。



雪囲い



牡丹のお手入れ作業時期の目安

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
肥料		寒肥			花肥					秋肥		
種まき												
接ぎ木												
開花		寒牡丹										夏牡丹
摘花												
草取り												
剪定												
敷葉												
雪囲い												
支柱立て替え												



赤坂お茶屋敷牡丹園入口



園内の竹藪

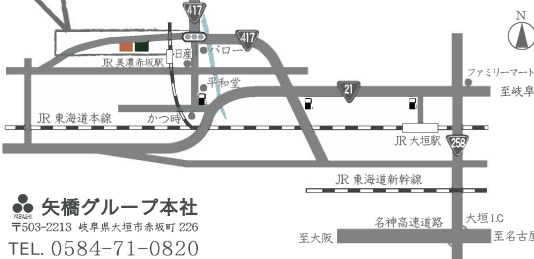


外周部の生垣

毎年、秋になると園内の竹藪の竹を切り、太さごとに分けて保管します。そして、冬にその竹で生垣や支柱の立て替えなどを行っています。竹には生えてきた年の干支を書き、管理しています。



見ごろ 4月～5月上旬
見ごろはあくまでも目安であり天候等により異なります。



史跡 赤坂お茶屋敷牡丹園
〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町 3421-1
お問い合わせ・ご連絡先 TEL. 0584-71-0820

矢橋グループ本社
〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町 226



1604年、徳川家康は、織田信長が建てた岐阜城千畳敷御殿をここ赤坂に移築させました。開設された当初は、総面積10,500坪の城郭の構えを持つ屋敷であり、中山道の休憩所として利用されていました。1605年9月徳川家康が上洛する途中で宿泊されたという記録が残っています。

うみゆり連載集

中山道赤坂つれづれの記

皇女和宮の下向余話(三)

故清水 春一

赤坂宿における和宮さまのご宿泊については断片的ながら既にご紹介してきました。たまたま昨年(二〇〇二)は中山道制定四百周年記念ということで、大津市の西村幹夫氏方で所蔵されていた「和宮御方様御下向御道中御次献立帳」の文書が確認され、和宮の道中において召し上がった朝昼晩三回の食事の献立が明らかにになったことは、誠に意義あるものであったといえます。

赤坂宿の「和宮道中料理献立」

西村家の六代目藤八さんが大津宿で魚の仲買いをしながら膳所藩の賄いをしていたので、誰かの推薦で和宮さまの下向道中のお供をして、それを記録していたのです。「道中御賄御用」として代官石原清一郎、多羅尾民部の兩人が御供を仰せつけられ、「御賄方御用の品その外何事に依らず、

改め次第滞りなく差し出し申すべき事」と指示されていて、宿泊地のお宿は「御賄料理品々取調返答書」に「当宿有合の品々書上候品」を記して差し出しています。それによると赤坂宿泊り飯(夕食)および朝食の献立は、次のとおりで、美濃十六宿のうちで食材に豆腐を出しているのは赤坂の夕食だけでした。

また、汁については太田宿の夕食に「合味噌」があるのみで、ほかはすべて「赤味噌」であり、全体的にみて海のない美濃の宿場が、ぶり、鰯、さより、鯛、すずきなどの海魚が多いのは、川舟交通が発達していたので海魚が容易に手に入りやすかったからと考えられます。「川ます」が食材に使用されているのは関ヶ原の昼食だけで、その土地の物として、しいたけ、百合根、芋類、くわいはよく出されており、漬け物は全部「なら漬け」

と「沢庵大根」で、なぜか白菜や瓜類などの漬け物がないのも美濃国にとつて、不思議といえれば不思議、といわざるを得ません。

この史料を捜し当てた中山道三三博物館長太田三郎さんは、僅かな一面だけで批評するのは無理だが、宮廷料理に馴れておられる和宮さまにとつては、お粗末な道中料理だったと思われる、と語っておられます。

赤坂泊り飯(夕食)

平皿——大釜鉾、くわい、人参汁——赤味噌、豆腐小才、ささきな

香の物——なら漬なす、沢庵大根

御飯

坪皿——鰯、百合根、ふ、薄葛、生か焼物——ぶりこ切身 煮付

十月二十六日、赤坂宿朝食

平皿——鰯、山の芋、干びよう、

午房、薄葛、志いたけ

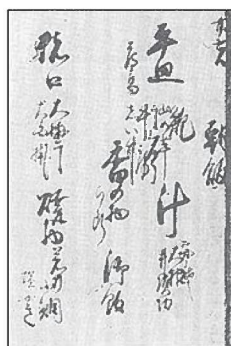
汁——赤味噌、大根井頂切

香の物——同断

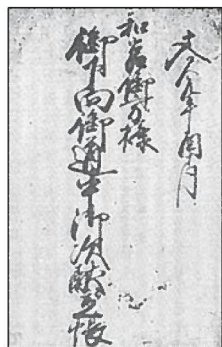
御飯

猪口——大梅干、大安掛

焼物——若サ小鯛塩やき



赤坂宿の「和宮御方様御下向御道中御次献立帳」(3点とも)



赤坂宿の「和宮御方様御下向御道中御次献立帳」(3点とも)



矢橋林業株式会社

